



2025年3月24日
東日本旅客鉄道株式会社

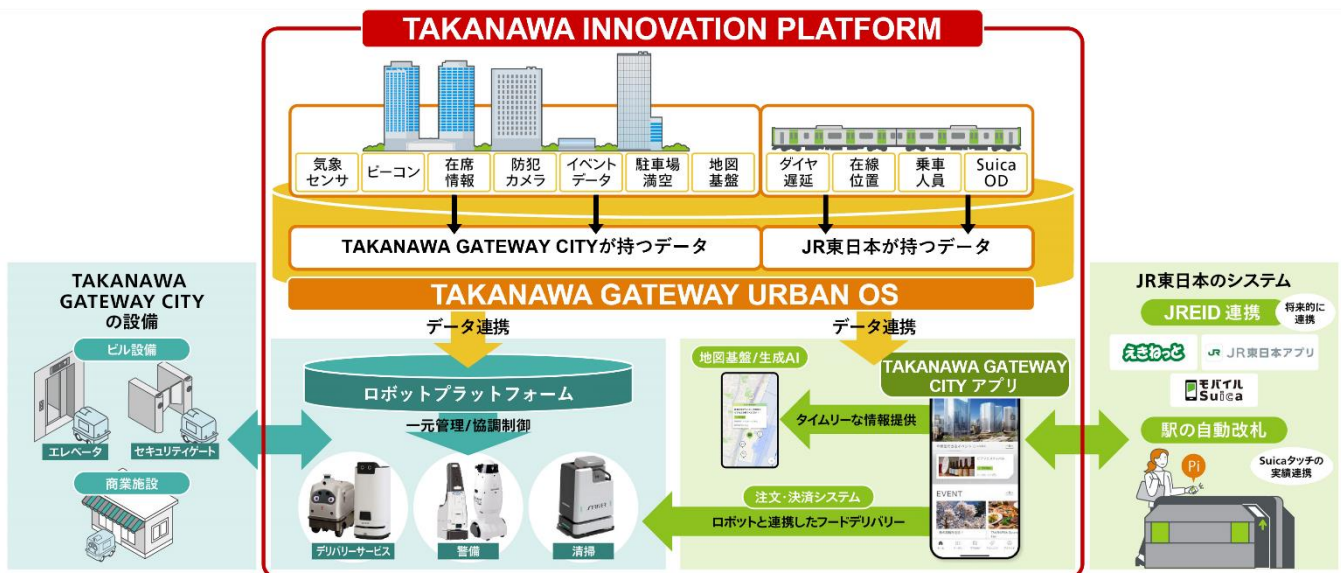
街のサービスを集めた「TAKANAWA INNOVATION PLATFORM」 100年先の心豊かなくらしに向けてサービス開始

- 東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：喜勢 陽一、以下「JR東日本」）は、2025年3月27日(木)にまちびらきするTAKANAWA GATEWAY CITYで、鉄道運行データやロボット、Suica等の情報を連携し、滞在時の快適性を高める「TAKANAWA INNOVATION PLATFORM」を提供開始します。
- TAKANAWA INNOVATION PLATFORM では、3月24日(月)より、新たなサービスとして、多彩な機能を搭載した街独自のアプリ「TAKANAWA GATEWAY CITYアプリ」を配信します。さらに、4月11日(金)からロボットによる「フードデリバリーサービス」を開始します。
- TAKANAWA GATEWAY CITYが掲げるビジョンの「100年先の心豊かなくらしのための実験場」の実現に向けて、今後は街のパートナーとの連携やサービスの拡大を行い、未来のくらしに向けた挑戦を続けます。

1. 概要

「TAKANAWA INNOVATION PLATFORM」は、街の共創パートナーであるKDDI株式会社と開発したサービスであり、街と鉄道のデータを収集する基盤「TAKANAWA GATEWAY URBAN OS」、街独自のアプリ「TAKANAWA GATEWAY CITYアプリ」、さまざまなロボットを制御する「ロボットプラットフォーム」から構成されます。TAKANAWA GATEWAY URBAN OSに街や鉄道に関するデータを集約し、そのデータをTAKANAWA GATEWAY CITYアプリやロボットプラットフォームで活用することによって、街を訪れるすべての方を支える快適なサービスを実現します。

このたび、「TAKANAWA GATEWAY CITYアプリ」やロボットプラットフォームを活用した「フードデリバリーサービス」の具体的なサービス内容が決まりましたのでお知らせいたします。



TAKANAWA INNOVATION PLATFORM

2. TAKANAWA GATEWAY URBAN OSについて

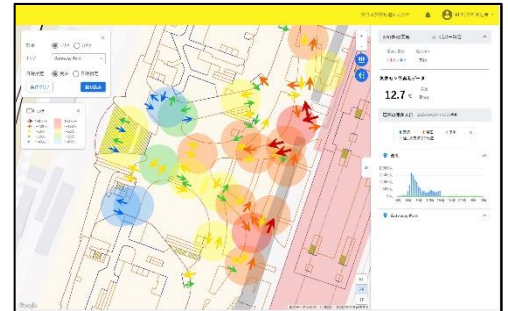
TAKANAWA GATEWAY URBAN OSは、商業、オフィス、レジデンスなど街全体の情報に加えて、JR東日本が持つ鉄道運行データ（列車の在線位置、車両内の混雑・改札通過情報）を蓄積するデータ連携基盤（都市OS）です。TAKANAWA GATEWAY URBAN OSが持つ膨大なデータは、お客さまの生活に寄り添ったイベント計画や商品開発に活用できます。

ビジネス創造施設「LiSH」や「高輪ゲートウェイ駅周辺地区スマートシティコンソーシアム会員」といった街のパートナーに提供し、イノベーションのハブとしての役割を果たします。

【データ利用の一例】データダッシュボード「TAKANAWA GATEWAY DASHBOARD」

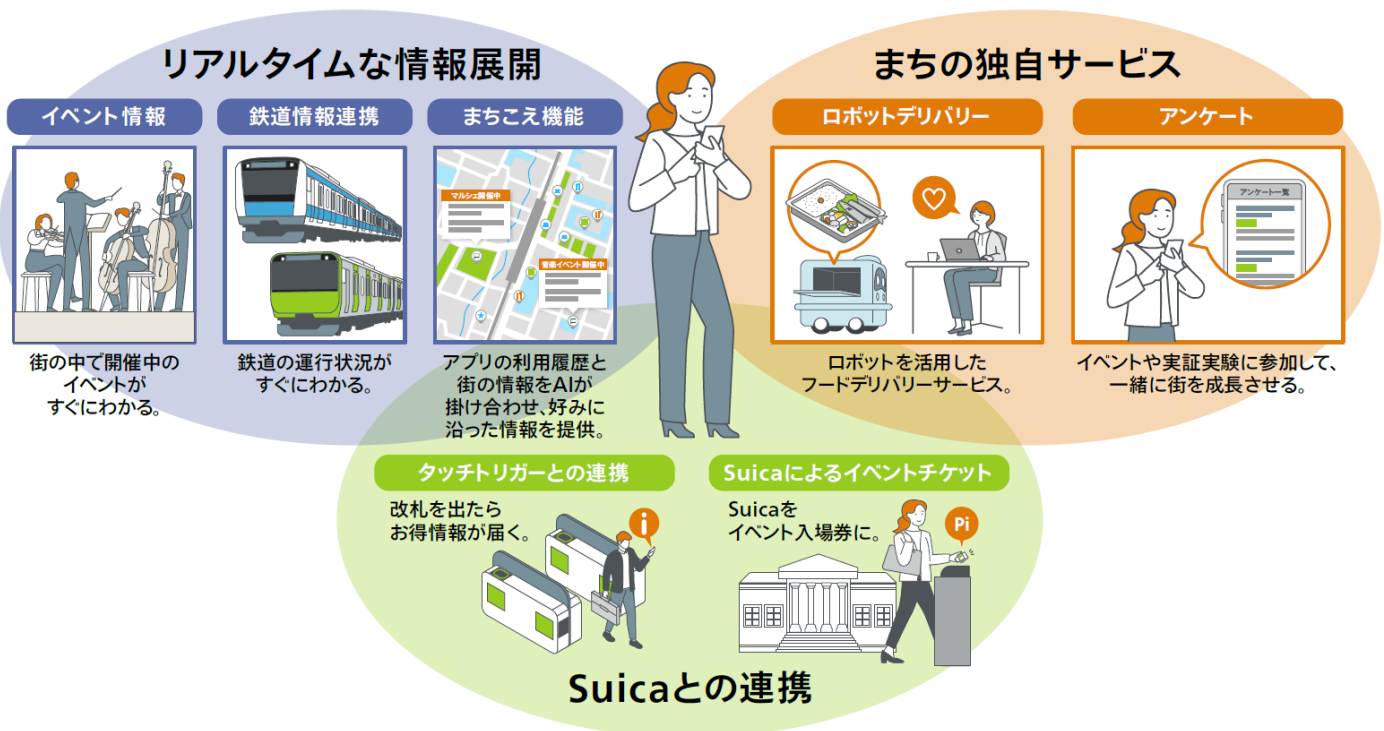
TAKANAWA GATEWAY DASHBOARDは、街の防犯カメラやIoTセンサを活用し、人流解析情報を可視化します。現在の街の混雑状況だけでなく、将来の予測も可能です。

イベント情報を入れれば、イベントの混雑による流動変化が分かり、データを活用することで、効率的な販売計画を立てることが可能となります。



3. 「TAKANAWA GATEWAY CITYアプリ」のリリース

2025年3月24日(月)より、街を訪れる人々に最新情報をお届けし、街での快適な滞在をサポートするアプリ「TAKANAWA GATEWAY CITYアプリ」を配信します。本アプリでは、Suicaとの連携や生成AIを使った情報提供を行うことで、ユーザーの興味・関心に見合った情報をタイムリーに提供することを目指します。



(1) 「TAKANAWA GATEWAY CITYアプリ」機能一覧



※:TAKANAWA GATEWAY CITY アプリ公開時に実装される機能

街の進化に合わせて、機能を拡充します

〈機能説明〉

| | |
|-----------------------|--|
| ① まちこえ | アプリが持つ嗜好や履歴情報と街の案内情報をAIが掛け合わせ、ユーザーの興味関心に沿った情報を提供します。 |
| ② タッチトリガー | アプリにSuicaを連携し、高輪ゲートウェイ駅の改札を出場するとお得情報やイベント案内を通知します。 |
| ③ フロアマップ | 地図上にTAKANAWA GATEWAY CITY内の施設やサービスをプロットして表示します。 |
| ④ Wi-Fi | TAKANAWA GATEWAY CITY内で使用可能なフリーWi-Fiに接続することができます。 |
| ⑤ イベント情報閲覧 | TAKANAWA GATEWAY URBAN OSに蓄積された、街のイベントの参加予約や情報閲覧ができます。 |
| ⑥ イベントアンケート | 街の中で開催されるイベントや実証実験にご参加いただいた方へアンケートを配信し、アプリ上からフィードバックすることが可能です。 |
| ⑦ モバイルオーダー (フードデリバリー) | 街の中の飲食店にて、フードデリバリーやテイクアウトの注文や決済が可能です。この機能はLiSH会員であるスカイファーム株式会社と開発したものです。 |
| ⑧ 社食サービス連携 | ビル内の社員食堂からオフィスへのフードデリバリーサービスを行います。 |
| ⑨ ヘルスケア・薬デリバリー | 今後街にできる薬局から、ロボットによる医薬品のデリバリーサービスを行います。 |
| ⑩ レジデンスサービス連携 | TAKANAWA GATEWAY CITYアプリとレジデンス棟の連携により、改札通過のタイミングで自宅のお風呂が沸く、エアコンが作動する等、快適な環境を提供します。 |
| ⑪ 日用品サポート | スーパーなどの店舗からレジデンスへの日用品の配送を行います。 |
| ⑫ ワーカー向け特典 | TAKANAWA GATEWAY CITYの入居企業の社員へお得なクーポンを発行します。 |
| ⑬ Suicaによるイベントチケット | Suicaが街で行われるイベントの入場券やチケットになります。 |

※TAKANAWA GATEWAY CITYアプリ公開時は、①～⑦の機能を実装し、⑧～⑬は順次リリース予定です。

(2) TAKANAWA GATEWAY CITYアプリの特徴的な機能

① 生成AIを活用した「まちこえ」機能

「まちこえ」は、TAKANAWA GATEWAY URBAN OSに蓄積したイベント情報など街のデータをもとに、フロアマップ内にて、リアルタイムな情報をポップアップで発信する機能です。本機能では、街を回遊しながら、開催中のイベント情報等を確認できます。

将来的には、アプリに登録いただいた個人の嗜好やご利用履歴等の情報と、店舗やイベントに関する街が提供のご案内情報をAIが掛け合わせ、利用者が求める最適な情報を提供することを目指します。



「まちこえ」イメージ

② Suicaを活用した新たな体験価値の提供「タッチトリガー」

TAKANAWA GATEWAY CITYアプリでは、弊社が開発した「タッチトリガー※1」システムを利用し、自動改札機にSuicaをタッチすると、アプリにお得な情報やイベントの案内等の通知が届くサービスを提供します。これにより、街を訪れる人はリアルタイムで最新のTAKANAWA GATEWAY CITYの情報を受け取ることができます。

3月27日(木)からキャンペーンとして、高輪ゲートウェイ駅でタッチトリガー機能をご利用の方に、「Gateway Park Market」で販売予定のTAKANAWA GATEWAY CITYオリジナル仕様のコーヒードリップバックをプレゼントします。

【開催日時】 2025年3月27日(木)12:00～3月30日(日)20:00まで

【対象】 アプリへSuica情報を登録し、
高輪ゲートウェイ駅から街にお越しになった方

【特典内容】 TAKANAWA GATEWAY CITYオリジナル仕様
前田珈琲のドリップコーヒー 1点※2

【引換場所】 Area Information & Mobility
(高輪ゲートウェイ駅南改札前総合インフォメーション & モビリティスポット)

※1:タッチトリガーとは、Suicaタッチのタイミングをリアルタイムに活用できるサービスです。

JR東日本公式HP：<https://www.jreast.co.jp/suica/corporate/touchtrigger.html>

「タッチトリガー」HP：<https://touch-trigger.jp/>

※2:プレゼントはなくなり次第終了します。



前田珈琲のドリップコーヒー

(3) ダウンロード方法

3月24日(月)より、スマートフォンアプリ各ストア (App Store・Google Play) で、「TAKANAWA GATEWAY CITY」からダウンロードいただけます。



App Store



Google Play

4.ロボットによるフードデリバリーサービス

TAKANAWA GATEWAY CITYではロボットを活用したフードデリバリーサービスを実施します。スマートフォンで注文した商品をロボットが指定の場所までお届けします。4月のまちびらきイベントではマルシェでドリンクをお届けします。また、まちの飲食店が本格的に開業する2025年夏頃に、オフィス内で昼食等を配送するサービスを開始するなど、段階的にサービスを拡充することを予定しています。

このロボットはTAKANAWA GATEWAY URBAN OSに集約されたデータを活用して最適なルートを選択します。AIが防犯カメラの人流情報から混雑しているエリアを回避することで、お客さまをお待たせすることなくロボットが商品をお届けします。

(1) THE LINKPILLAR 1NORTHおよびSOUTHオフィスでのフードデリバリー
THE LINKPILLAR 1 NORTHおよびSOUTHの飲食店開業に合わせて、2025年夏頃にサービスを開始します。

建物内の走行のため、ロボットはロボットプラットフォームの制御によりエレベーターやセキュリティゲート等の街の設備と連携します。まちびらき以降、すぐに実証実験を開始し、建物内を自由に動くロボットサービスを実現します。

※1 取扱店舗はフードデリバリー対象店舗に限ります。

※2 支払いはクレジットカードおよびau PAYに限ります。なお、au PAYは2025年秋以降に対応予定です。

※3 配送先はTAKANAWA GATEWAY CITY内の指定の場所に限りします。



デリロ(イメージ)

(2) Gateway Park Market(マルシェエリア)内でドリンクデリバリー

2025年4月11日(金)から、まちびらきイベントのGateway Park Market(マルシェエリア)内で、ロボットによるドリンクのデリバリーサービスを開始します。

【開催日時】 2025年4月11日(金)～2025年6月29日(日) 10:00～18:00

※デリバリーサービスの実施はGateway Park Marketの開催日に準じます (ロボットデリバリーは雨天中止)。

<https://www.takanawagateway-city.com/news/detail.php?page=2001>

【開催場所】 Gateway Park Market(マルシェエリア)

【利用方法】

- ① TAKANAWA GATEWAY CITYアプリより「モバイルオーダー」をタップし、商品を選択して注文。
- ② Gateway Park Market(マルシェエリア)付近に待機しているロボット(最大2台)があらかじめ指定している配送先(Gateway Park内に数か所の予定)に配送します。

【対象商品】 トレインウォーター、acure made の飲料等



デリバリーする飲料商品(一例)

【参考】

< 「TAKANAWA GATEWAY CITY」のまちづくり概要 >

品川開発プロジェクトの一環として、江戸の玄関口としての役割を担った歴史的背景および国内初の鉄道が走った地におけるイノベーションの記憶を継承し、開発コンセプトに「Global Gateway」を掲げ、「100年先の心豊かなくらしのための実験場」として新たなビジネス・文化が生まれ続けるまちづくりに取り組んでいます。

そして、まちづくりを進める中で出土した高輪築堤は、国指定史跡の第7橋梁部および公園部の現地保存・公開（2027年度予定）に加え、信号機土台部の移築保存・公開や先端技術を活用した展示、まちのランドスケープ等での保存・活用を通して、日本で初めて鉄道が走ったイノベーションの地としての記憶を、次の100年に継承していくことにより、地域の歴史的価値向上に努めていきます。

2025年3月27日まちびらきより、THE LINKPILLAR 1の開業および高輪ゲートウェイ駅が全面開業し、その他の棟（THE LINKPILLAR 2・MoN Takanawa: The Museum of Narratives・TAKANAWA GATEWAY CITY RESIDENCE）および各棟周辺エリアを2026年春に開業します。今後も続くTAKANAWA GATEWAY CITYおよび品川駅周辺エリア（品川駅北口駅改良・品川駅街区）のまちづくりと一体となった価値向上に向けて、品川開発プロジェクトを推進していきます。

公式ウェブサイト (<https://www.takanawagateway-city.com>)



< 高輪ゲートウェイ駅周辺地区スマートシティコンソーシアムについて >

高輪ゲートウェイ駅周辺に整備されるエキマチ一体の都市基盤上に、鉄道事業者が中心となって取り組むからこそ実現できるスマートシティサービスを実装し、地域・世界とのつながりを実現します。

コンソーシアムに参加する民間の企業、団体、学術・研究機関等と行政が一体となって情報の交換・共有等を行い、連携・協力しながら高輪ゲートウェイ駅周辺地区におけるスマートシティサービスを実装することで、地域課題の解決や新たな価値創出につなげます。

公式ウェブサイト (<https://takanawagateway-am.jp/smartcity/>)

<ビジネス創造施設「LiSH」について>

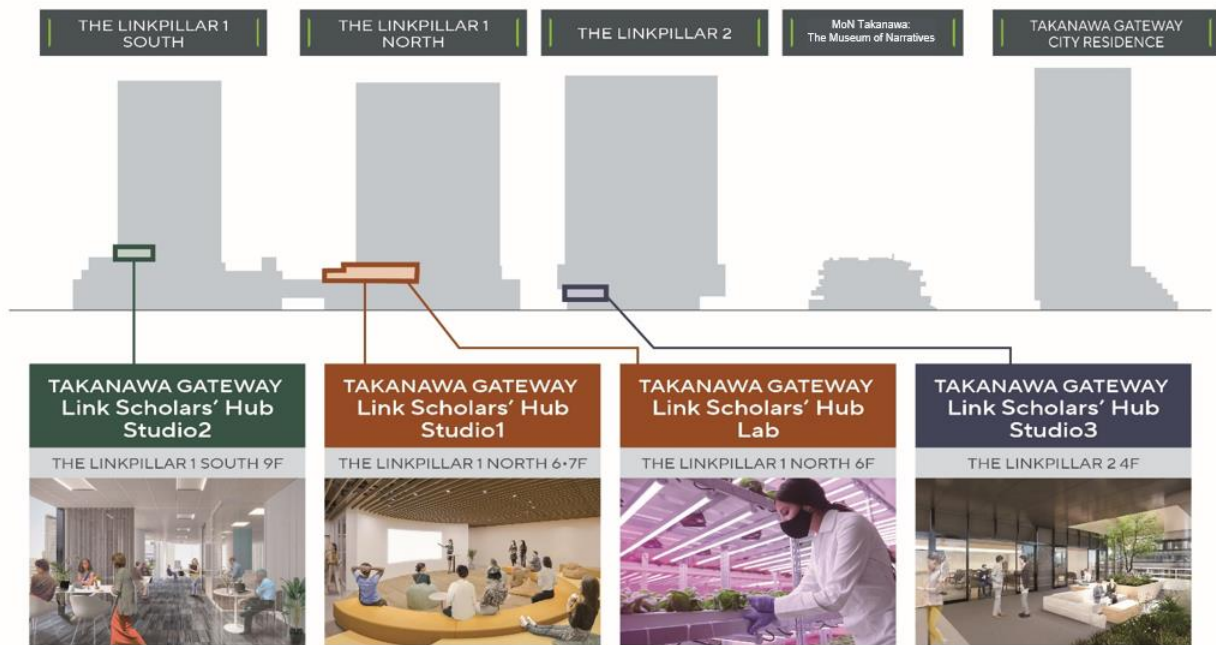
「TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub (略称 LiSH)」は、ディープテック分野などの100社以上のスタートアップをサポートする多様な人材や支援制度を揃え、広域スタートアップエコシステムの拠点となる施設です。世界中の社会課題に対して、多様で先端的な知とのコラボレーションの機会や、鉄道データを含む街のデータ基盤（都市OS）による分析、多様な資金サポートの提供により、ソリューションを生み出し、育て、社会実装までサポートします。

個室やコワーキングスペースに加え、ベースラボ、水圏ラボ、植物ラボ、微生物ラボなどのシェアラボを備えているほか、街全体を実験場として、様々なフィールドをご用意しています。

新たなビジネス創出に向けて、新規会員を募集しています。

LiSH 公式ホームページ：<https://www.takanawagateway-lish.com/>

お問い合わせ先：takanawagateway-lish@jreast.co.jp



施設概要と会員の種類

| | Studio1 | Studio2 | Studio3 |
|------------------|---------|------------|------------|
| 利用可能時間 | 24h | 8:00~21:00 | 8:00~21:00 |
| Studio全体の広さ | 約2,300㎡ | 約670㎡ | 約750㎡ |
| (個室会員) 個室の種類 | 3名~6名 | 4名 | 2名~4名 |
| (デスク会員) デスクの数 | 約90席 | 約50席 | 約20席 |

| Lab | | | | |
|-------|----|----|-----|----|
| シェアラボ | | | | |
| ベース | 特化 | | | 個室 |
| | 水圏 | 植物 | 微生物 | |
| | | | | |

| | | | | | |
|---------------------|-------------|------|------|------|----------|
| 利用可能時間 | 24h | | | | |
| 受付時間 | 10:00~18:00 | | | | |
| 広さ | 約240㎡ | 約80㎡ | 約80㎡ | 約80㎡ | 約17㎡~26㎡ |
| (個室会員) 個室の種類 | - | - | - | - | 3名~4名 |
| (シェアラボ会員*) ベンチの数 | 20台 | 4台 | 4台 | 4台 | - |

<KDDI との共創事業について>

① 空間を超えたあたらしい“くらし”を実現する「空間自在プロジェクト」

JR 東日本と KDDI は、交通と通信の融合により、場所や時間にとらわれない多様な働き方やくらしを創出する新しい分散型まちづくり「空間自在プロジェクト」(<https://kukanjizai.com/>)の実現に向け、2020年12月14日に基本合意書を締結しました。「空間自在プロジェクト」における都市部のモデル地域として、「TAKANAWA GATEWAY CITY」のまちづくりを共同で推進します。5G を前提とした最先端の通信インフラとサービスプラットフォーム（都市 OS）を両社で構築することにより、働く人・住む人・訪れる人のくらしと都市機能が連携し、アップデートし続けるまちづくりを目指します。

・2020年12月15日：JR 東日本と KDDI、品川開発プロジェクト（第1期）をコアとした新たな分散型まちづくりの共同事業化に向けて基本合意

(<https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2020/12/15/4865.html>)

② ロボットにおける共創

・2023年1月10日：混雑回避や回遊販売が可能な都市データ連動型ロボット配送サービスの検証を開始

(https://www.jreast.co.jp/press/2022/20230110_ho01.pdf)

<Suica タッチ情報連携「タッチトリガー」サービスについて>

Suica タッチのタイミングをリアルタイムに活用できるサービスです。改札機の入出場の瞬間をリアルタイムで検知し、駅・鉄道を利用されるお客さまにタッチのタイミングでのサービス提供が可能となります。詳しくはウェブサイト (<https://www.jreast.co.jp/suica/corporate/touchtrigger.html>) をご覧ください。

<スカイファーム株式会社について>

テクノロジーを活用することによる飲食店支援、不動産価値の向上及び快適な時間と空間の提供を目指しており、飲食店・小売店向けオーダープラットフォーム「NEW PORT」を運営しています。

TAKANAWA GATEWAY CITY アプリでの注文、決済機能は「NEW PORT」の機能を利用しています。

詳しくはスカイファーム株式会社のウェブサイト (<https://sky-farm.co.jp/>) をご覧ください。